

# 愛知県 精神医療センター ニュース

愛知県精神医療センター広報誌

2018.08  
Vol.03

触法精神障がい者の社会復帰を支える

## 医療観察法

認定看護師+CERTIFIED NURSE

認知症を専門に見る看護師がいることをご存じですか？

『副院長のご紹介』

INFORMATION

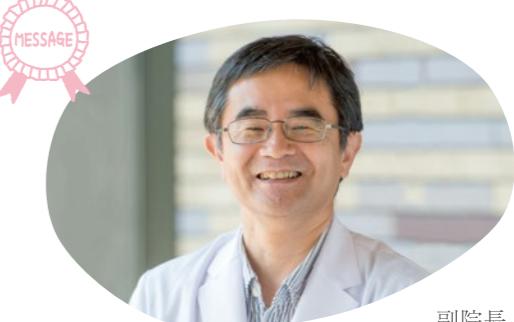
CONTENTS



## 副院長のご紹介



副院長  
大村 豊 医師



副院長  
高木 宏 医師

このたび副院長（児童青年期・成人発達担当）に就任いたしました大村豊です。全面改築により、当センターは二つの新しい機能を担うことになりました。一つは未成年、主に10代前半を対象にした児童青年期部門です。児童青年期外来「ポート」、児童青年期病棟「シップ」、児童青年期デイケア「ベース」という三つの工夫を凝らした素晴らしい専門施設と意欲あふれるスタッフが、若い方々の診断、治療、リハビリテーションのためにお役に立てることう思います。もう一つは、主に大人になって初めて受診される方の、診断と支援のための成人発達部門です。他の医療機関と連携して、診断の困難な方の診断とデイケアなどの専門的な支援を当センターが担当いたします。現在の担当医2名に加え、今後、精神保健福祉士、公認心理師、作業療法士を含めた多職種チームを結成し、支援体制を整える予定しております。今後とも皆さまのご支援をよろしくお願い申しあげます。

今年4月から副院長に任せられました、高木宏といいます。よろしくお願ひいたします。

長く迷惑をおかけしていました当院の改築も、平成30年8月末をもって終了となります。この改築の間には建物だけでなく様々な変化がありました。医師が12人から20人になったのをはじめ、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士も大幅に増員されました。ベッド数は392床から273床に減少しましたが、精神科救急病棟、急性期治療病棟、児童思春期病棟、医療観察法病棟などの病棟機能分化が進みました。それにより最近では平均在院日数100日前後、1年以上の長期入院の患者さんの比率が30%前半というアクティブな病院となっています。当院が力を入れている分野は様々ありますが、第一には愛知県の精神科救急医療の中核として、行政機関や地域の医療機関などの入院や受診にできるだけ速やかに応えていける、頼りになる医療機関になっていかなければと思っています。

## INFORMATION

### 平成30年度 愛知県精神医療センター 公開講座のお知らせ

お申し込み  
不要

場所：愛知県精神医療センター 外来北棟2階 大会議室

時間：10時から11時30分（9時30から受付）

問い合わせ先：事務部総務グループ TEL 052-763-1511 内線607

※ 参加申し込み不要  
※ 参加費無料



第1回目の様子

【第1回】 7月7日(土)

災害派遣精神科医療チームから  
「知っておきたい災害への備えと心構え」  
平澤克吉 医師  
波多野幹弘 看護師  
成岡梨絵 看護師  
宮澤佳久 看護師

※40名の参加がありました。

【第2回】 9月8日(土)

うつ病は、本当に身近です  
粉川 進 院長  
坂田正治 認定看護師

※40名の参加がありました。

【第3回】 11月10日(土)

精神科の病気って他人事?  
合澤 祐 医師  
永田秀樹 認定看護師

※40名の参加がありました。

【第4回】 1月19日(土)

精神科の病院では  
どんな治療をしているの?  
高木 宏 副院長  
新美浩二郎 認定看護師  
安田恵子 認定看護師

※40名の参加がありました。

【第5回】 3月9日(土)

認知症は特別な病気ではありません  
羽渕知可子 医師  
西野陽子 認定看護師

～ 皆様どうぞお気軽にご参加ください～



愛知県精神医療センター  
Aichi Psychiatric Medical Center

〒464-0031 名古屋市千種区徳川山町4-1-7  
TEL 052-763-1511  
<http://www.pref.aichi.jp/seishiniryo-center/>



触法精神障がい者の社会復帰を支える

# 医療観察法

## 使命感と 医療観察法の意義

## 看護の原点と使命

場面設定

対応

Dr役:

患者役:

①



南病棟長  
石川 敦成



南病棟副師長  
島田 美子

PLUS	SST
(目的)	自分の気持ちを適切に相手に伝える
(方法)	ロールプレイ
(テーマ)	何か調子が悪い気がします。 お困りみたいを感じてあげたい。 どう伝えればいいか考えてみましょう。

ヨリ上手く  
伝えられる?

## 医療観察法の医療とは

南病棟 医師 平澤克己



2005年7月から施行された医療  
観察法は、国の事業として触法精神障  
がい者の社会復帰を目指し、ガイドライ  
ンに沿った治療が進められています。

医療観察法病棟は、高いセキュリティを保つため、病棟に24  
時間体制の警備員が配置され、二重の高いコンクリート壁や  
赤外線センサー、門型の金属探知機などを整備しています。

こうした安全に配慮された治療環境のもと、5職種（医  
師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士・臨床  
心理士）が配置され、対象者1人ひとりを、  
担当する多職種のチームで治療に取  
り組んでいます。



二重の高いコンクリート壁と  
監視カメラ



24時間体制の警備  
奥に門型の金属探知機

医療観察法に基づく南病棟が開  
棟して、一年半が過ぎました。新  
規病棟の運営は新しいことばかり  
で、病棟看護管理者として試行錯  
誤の毎日でした。

医療観察法病棟は、国公立の精神  
科病院のみに設置が許可され、自  
治体病院としての役割が求められ  
ています。私たち病棟のスタッフ  
一同は、使命感を持って、日々の  
業務に取り組んでいます。

病棟では、多職種チームによる治  
療プログラムを行っています。私  
自身、5職種が入院患者全員のカ  
ンファレンスを、毎週行う病棟な  
ど今まで聞いたことがありません  
でした。

この他、病院外の有識者の評価を  
受けることも義務づけられており、  
透明性が保たれています。地域代  
表の方にも出席いただき会議・会  
議録のホームページへの公開など  
にも取り組んでいます。

このような新しい取り組みを、一  
般精神医療にも広めていくことが、  
私達の使命であると考えています。

今後も地域の皆様に、正しい情  
報や知識をご提供していくことを  
ご不明な点がありましたらお問い合わせ  
いただけたらと思います。

医療観察法病棟の精神保健福祉  
士として、対象者さんの自己決定  
の支援や権利擁護、社会復帰にむ  
けた関係機関との連携・普及啓発  
活動などの業務を行っています。多職種チ  
ームの中での専門性  
を發揮しつつ、社会復帰調整官と  
の連携を図りながら、今後も質の  
高い治療・支援を対象者さんも含  
めた治療チームで行つてまいりた  
いと 思います。

専門性の高い医療の提供は、医療  
観察法医療におけるひとつの使命  
です。しかし前記の経験から、自  
分と対象者と地域は、生活中で  
確かにつながっているのだなと実  
感させられるという意味で、看護  
者の事件に至る経過を探りながら今後  
の課題と目標を多職種チームと本人と  
共に考えて、多職種チームで行われた  
医療観察病棟での最大の強みは、対象  
者の心身の疲労は体験された  
ことがあります。そのため、看護の原点を忘れるこ  
となく、開かれた精神科看護の發  
展に日々励んでいくことが私達が  
地域に貢献できることの一つと考  
えております。

## 認定看護師 + CERTIFIED NURSE

### ○認知症を専門に見る看護師がいることをご存じですか？

西野 陽子



所へ行つたり、見知らぬ人と  
話したりする時は不安や緊張  
が高まります。認知症の人  
にとっては、できる限り認知症の  
方がどうしたいと思っている  
のかを知り、できる  
ことができるのかを知り、できる  
限りのことはご自身で行つて  
頂くことです。入院されても  
ご自宅や地域へ戻り生活を続  
けられる「暮らしの継続性」  
環境でも安心して過ごして頂く  
ために、医療者も環境の一部  
であることを自覚しなければ  
いけないと思っています。温  
かいのある言葉と表情で「不  
安」な思いを「安心」と感じ  
て頂けるような接し方を心掛  
けています。そして、ご本人

こんにちは。認知症看護認  
定看護師の西野と申します。

私自身、認知症がまだ痴呆と  
呼ばれていた時代に、認知症  
になった祖母の在宅介護を行  
ない、家族と共に自宅で最期  
を見取った経験があります。

今でいう物を盗られたという  
妄想や、食事を食べたこと自  
体を忘れてしまう記憶の障害  
の対応に苦慮しましたが、家  
族の生老病死を通して、尊く得  
難い体験をしました。そのの  
ち、県の看護職として就職、愛  
知県精神医療センターに勤  
務し十年が経ちました。

回、そんな私からワンポイント  
アドバイス！

認知症看護（介護）で大切な  
ことは、できる限り認知症の  
方がどうしたいと思っている  
のかを尊重することなんです。そして何  
ができるのかを知り、できる  
限りのことはご自身で行つて  
頂くことです。入院されても  
ご自宅や地域へ戻り生活を続  
けられる「暮らしの継続性」

のようになっています。その思  
いを中心と考えた一番の  
ケアを目指し、医師、医療相  
談員の他、多職種で連携しな  
がら医療並びに看護を提供さ  
せて頂いております。

それでもう一つご家族の方へ  
のアドバイス！認知症の方の  
お世話をみてみえるご家族へ  
のケアも同様に大切と考えて  
います。なぜなら、病状が軽  
くなったり、不安や緊張が高  
まり周囲には理解できないよ  
うな行動をとつたりすること

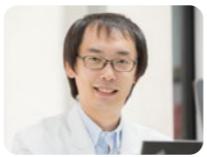
もありますよね。このような  
場合、特にご自宅で介護され  
ている家族は大変な疲労を伴  
うことが多いからです。ご家  
族の心身の疲労は体験された  
ことがあります。そのため、看護の原  
点でなくてはわからないもの  
です。

今現在、様々な悩みを抱え  
て生活し介護を続けておられ  
る方はいらっしゃいません  
か？ご家族だけで、ご自身だ  
けで頑張るうとされず、その  
ような力（考える力、行動  
する力など）があるかを見つ  
け、その力を強みとして活か  
し、「認知症になつても幸せ」  
と感じられるようなお手伝い  
をさせて頂きたいと考えてい  
ます。当院への受診、ご報  
をお待ちしています。



南病棟  
臨床心理士  
竹内 里衣

医療観察法病棟の臨床心理士として、  
対象者の方と共に、自身の事件・人生を  
見つめ直す「内省プログラム」を行つて  
います。非常に辛い作業ですが、対象者  
の方は逃げることなく、被害者への思い、  
今後どう生きていくかを述べられています。  
病棟スタッフの一一番の目標は、「対  
象者の方が二度と同じ過ちをせず、穩や  
かに生活できるよう支えていくこと」で  
す。治療チームの一員として、何ができる  
かを考えながら、技術を磨き、日々精  
進したいと思います。



南病棟  
精神保健福祉士  
佐野 隆司

医療観察法病棟の精神保健福祉  
士として、対象者さんの自己決定  
の支援や権利擁護、社会復帰にむ  
けた関係機関との連携・普及啓発  
活動などの業務を行っています。多職種チ  
ームの中での専門性  
を發揮しつつ、社会復帰調整官と  
の連携を図りながら、今後も質の  
高い治療・支援を対象者さんも含  
めた治療チームで行つてまいりた  
いと 思います。



南病棟  
作業療法士  
加藤 嘉純

医療観察法病棟での作業療法士の役  
割は、身体機能（運動面、認知面）、  
日常生活能力、コミュニケーション能  
力などの問題点と得意な面を知り、活  
動の設定と運営を主に担うことです。  
医療観察病棟での最大の強みは、対象  
者の事件に至る経過を探りながら今後  
の課題と目標を多職種チームと本人と  
共に考えて、多職種チームで行われた  
医療の再考を繰り返していくことで  
地域に貢献できることの一つと考  
えております。

